

# 1人1台時代の

## ICT活用

第15回

### 「総合的な探究の時間」 の学習評価における オープンバッジ活用

岡田祥成

株式会社ネットラーニング教育事業部  
(ICT CONNECT 21特別会員)

今年度から学年進行で施行されている高校の新学習指導要領では、「総合的な探究の時間」（総合探究）や「理数探究」などの領域、科目が追加され、「社会に開かれた教育課程」の実現が目指されています。

その中において、本稿では教員の皆さんが頭を悩ませておられるであろう「総合探究」の学習評価の問題に対して、最近注目を集めているデジタルバッジの仕組みについてご紹介いたします。

「総合探究」の学習評価で重視されていること

高等学校学習指導要領（平成30年告示）の解説に「総合探究」の学習評価の実施に当たっては、つぎの事項に配慮するものと示されています。

(1) 生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科・科目等の目標の実現に向けた学習の状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に活かすようにすること。

(2) 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて生徒の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

すでにこの学習評価を実践されている教員の方も多くいらっしゃると思いますが、いわゆる定期テストなどで定量評価することができないところに、この科目の学習評価の難しさがあると言えるのかもしれませんが。

#### オープンバッジとは

まずこのオープンバッジというものは、誰がどこでどのようなスキルを身につけたのか、このような学修履歴をいつでも

どこでもインターネット環境を通じて取得した本人が相手に証明できるICT技術です。

学歴とは異なる学修歴は、当初マイクロ・クレデンシヤルという文脈で用いられることが多く、伝統的な学位よりも短期間の、例えば検定・資格(certificates)、バッジ(badge)、免許(licences)、承認(endorsement)などを個人が取得したことを証明する証として活用が始まり、現在では伝統的な学位等でも活用が見込まれるようになってきました。

学生にとっては携帯性や利便性に優れ、卒業生の国際的活躍や生涯学習を支援できるほか、高等教育機関にとっては、学籍管理の負担が軽減され、事務職員の事務の効率化や生産性の向上が期待されています。

オープンバッジは国際標準技術化が進められており、全世界では2020年の時点で既に年間4300万個あまりも発行され、国内でも今年度中に100万個以上が発行される見通しです。またデジタル化技術にありがちな偽造・複製や改ざん等のリスクを防止する高いセキュリティ技術のブロックチェーン技術が用いられる方式も実現しており、公的な証明にも利用されています。

### 「総合探究」の学習評価におけるオープンバッジ活用イメージ

オープンバッジはデジタルバッジとして取得した学生のスマートフォンで管理することができます。またどの学生にど

のバッジを発行したのかをインターネット環境があればシステムにアクセスすることで管理することも可能です。

オープンバッジは「マイクロ」の単位でも発行できるため、「総合探究」の中で学生が実現した段階に応じたバッジを発行することにより、学生が探究のプロセスをさらに駆動的に進めるための動機付けとなるとともに、個別に異なる探究プロセスを可視化することで学生が学習のプロセスにおいて獲得した個性をアピールするツールにもなります。

「総合探究」は「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すために設けられた授業でもあり、今年度から成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、学生と社会の距離はますます近くなりました。

海外の事例ではアイオワ州(米国)で高校・大学の連携に民間企業も加わり、就職支援まで見据えた展開がなされており、成年年齢が引き下げられ社会との距離がより近づいた日本の高校授業においても、この事例のような総合的な探究の時間における授業実践が進められるのではないかと思います。

学修歴をデジタル化する取組は、現在国内では大学において多く取り組まれています。今後さらに社会との接続を目的としたオープンバッジの取組はさらに広まっていくことが期待されています。

ご関心ご興味をお持ちいただけましたら、「ICT CONNECT 21」までお問い合わせください。



(一社) ICT CONNECT 21 — 「教育の情報化」に関係する皆さまにオープンな場を提供し、コネクトすることで教育を良くしていく団体。教育とICTについての情報を毎週メルマガで配信中!